

2016

12.17 sat.



2017

3.20 mon.
holiday



新収蔵作品を中心に III

清川泰次

シンプルなもの
世界へ

開館時間 10:00~18:00(最終入館は17:30まで)

休館日 毎週月曜日、年末年始(12月29日~1月3日)
ただし、1月9日(月・祝)は開館、1月10日(火)は休館
3月20日(月・祝)は開館

観覧料 一般200円(160円)、大高生150円(120円)
65歳以上/中小生100円(80円)

- 障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料
介助者(当該障害者1名につき、1名)は無料。証明書をご提示のうえ、
お申し出ください
- ()内は20名以上の団体料金
- 小・中学生は土、日、祝・休日は無料

世田谷美術館分館

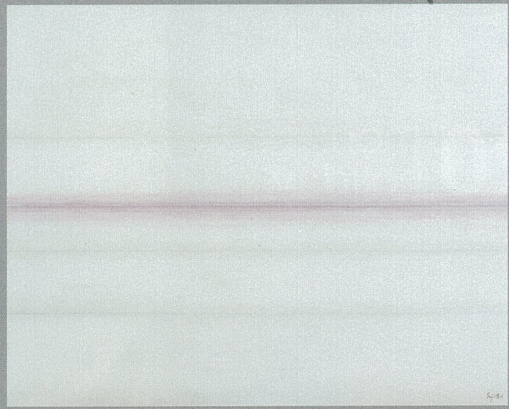
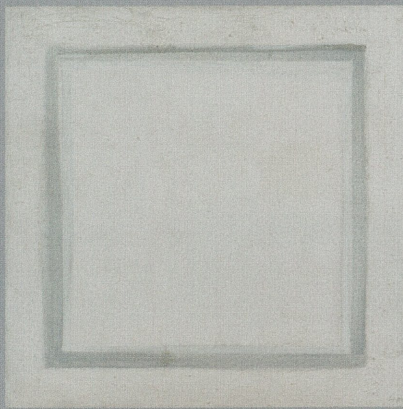
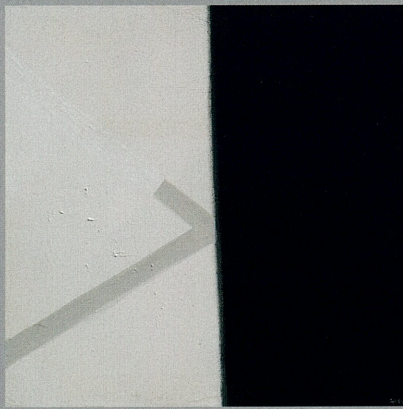
清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17
TEL.03-3416-1202 <http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>
[交通案内] 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分

新収蔵作品を中心にIII

清川泰次

シンプルな世界へ



1 《Painting No.SF1564》1964年 2 《Painting No.SF364》1964年 3 《Painting No.NY2366》1966年
4 《Painting No.NY1566》1966年 5 《Painting No.57980》1980年

本展は、画家・清川泰次(1919-2000)の、近年あらたに収蔵した作品を3期に分けてご紹介する「新収蔵作品を中心に」の最終期です。具象的な作風から出発した清川は、戦後間もない1950年代に渡米し、自由で新鮮な表現との出会いを経て、自身のスタイルを徐々に変化させていきました。第1期、第2期では、その変遷をご紹介しましたが、第3期では、1960年代から80年代頃までの油彩画10数点を展示します。

1963年、清川は、もう一度アメリカで制作と発表の機会を得ようと再び渡米しました。サンフランシスコとニューヨークで精力的に個展を開催し、グループ展にも参加しました。この頃から清川は、白く塗ったカンヴァスに、黒やグレーで線を引いた作品を多く描くようになります。1966年に帰国後も白を基調としたスタイルでの制作を続け、1973年には「白の世界」と題した個展を開催しました。後に「白の中には無限の色がある」と語っている清川にとって、白色は重要な色彩のひとつとなり、その後の仕事に大きく影響を与えることになりました。

在米中の作品をはじめ、シンプルな表現世界へと展開していく清川泰次の歩みをご覧ください。

イベント情報

担当学芸員によるギャラリートーク

向井潤吉アトリエ館と清川泰次記念ギャラリーで、同日、時間をずらして各館担当学芸員が解説を行います。この機会に分館めぐりはいかがでしょうか。

日時 12月17日(土)
11:00～ 向井潤吉アトリエ館
14:00～ 清川泰次記念ギャラリー

※ いずれも15分程度、参加費無料(要観覧料)、事前申込不要
※ 移動は各自。1館のみでも参加できます

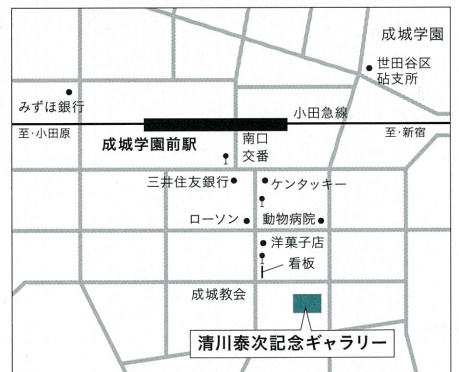
世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

清川泰次記念ギャラリーは、成城の閑静な住宅街にあります。芝生が広がり、草花が咲く明るい庭と温かみのあるモダンな建築は、清川泰次のアトリエ兼住居を一部改装したもので、2003年に世田谷美術館の分館として開館しました。当館では清川泰次の作品を紹介するとともに、区民ギャラリーを併設し、区民の方々の創作活動を発表する場として、週単位でご利用いただいています。(展示予定はホームページをご覧ください)



〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL.03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>
[交通案内] 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分



世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL.03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



向井潤吉が描いた山と民家
12月17日(土)～2017年3月20日(月・祝)

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL.03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

休館のお知らせ

宮本三郎記念美術館は空調設備等の改修工事のため、2016年12月5日(月)から2017年3月末まで休館いたします。2017年4月上旬から始まる第1期展より再開の予定です。

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL.03-3415-6011(代表)
[展覧会のご案内] TEL.03-5777-8600(ハローダイヤル)
<http://www.setagayaartmuseum.or.jp/>
*詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催展

企画展

ミュージアムコレクションⅢ

開館30周年記念 コレクションの5つの物語
花森安治の仕事—デザインする手、編集長の眼
ぜんぶ1986年—世田谷美術館の開館とともに

11月19日(土)～2017年1月29日(日)
2017年2月11日(土・祝)～4月9日(日)
11月5日(土)～2017年4月9日(日)